



2020年4月16日

各 位

会社名 株式会社デ・ウェスタン・セラピュテクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 052-218-8785

メドレックス社との共同開発契約締結のお知らせ

当社と株式会社メドレックス（以下、「メドレックス」）は、メドレックスが開発中の帯状疱疹後の神経疼痛治療薬 MRX-5LBT（リドカイン^(注1)テープ剤）（以下、「MRX-5LBT」）について、共同開発契約（以下、「本契約」）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本契約は、メドレックスが米国で開発中の MRX-5LBT について、当社も共同で開発を進めるものであります。本契約締結後は、これまで当社が培ってきた医薬品開発に関する知見や経験を活かし、メドレックスと MRX-5LBT の開発・事業化を進めることとなります。

本契約締結による一時金等の支払いは発生しませんが、当社は今後、米国での事業化の進捗に応じたマイルストーンを2億円を限度に支払うこととなります。その結果、当社は販売高に応じたロイヤリティ等を受領いたします。

また、MRX-5LBT は、現在メドレックスにおいて、米国 FDA（米国食品医薬品局）から要求されている臨床試験を全て終了しており、2020 年中に NDA（製造販売承認申請）を行う計画となっており、承認は 2021 年を見込んでおります。

本契約締結により、本剤の当社開発コードは「DW-5LBT」といたします。

当社は、新薬創出を目指して研究活動に取り組んでおりますが、より一層の「パイプラインの拡充」が必要と考えております。そのため、安定的かつ中長期にわたる収益基盤の強化を目的として、早期の上市が見込まれる製品である MRX-5LBT を対象として、本契約を締結するものであります。

当社は眼科領域に注力しておりますが、今後も本件のような取り組みを通じて、他社とのコラボレーションを推進してまいります。その結果、新たなアライアンス関係の構築等に発展することを期待するとともに、他社技術の有用性を踏まえて、自社化合物の開発機会と市場性を広げていくことを目指してまいります。

本件による 2020 年 12 月期業績への影響については、本日公表の「業績予想の修

正に関するお知らせ」をご参照ください。

メドレックスについて

(1) 名 称	株式会社メドレックス
(2) 所 在 地	香川県東かがわ市西山 431 番地 7
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松村 米浩
(4) 事 業 内 容	製剤技術を基軸とした医薬品開発
(5) 資 本 金	6,704 百万円 (2019/12/31 現在)

DW-5LBT (MRX-5LBT) について

DW-5LBT は、イオン液体を利用したメドレックスの独自技術 ILTS®(Ionic Liquid Transdermal System) を用いた新規のリドカインテープ剤であり、リドカインパップ剤 Lidoderm®の市場をターゲットとして開発が進められている製品です。米国におけるリドカイン貼付剤市場は、2018 年において 505 億円 (468millionUSD) と推計されています。

以 上

用語解説

(注1)リドカイン

神経末端において痛みの信号を遮断することにより痛みを軽減させる、局所麻酔薬の一種です。